

# 第 2 期北本市まち・ひと・しごと創生総合 戦略に係る実績報告



# 地方創生について

## 目的

地域の持続的な発展を目指し、地域内の人々がその土地で安心して暮らし、働き、育てることができる社会を創りあげることであり、「人・地域・仕事」の3つの要素を結びつけながら、さらにDXやSDGsなどの観点を取り入れて、地方の特性や資源を最大限に活用しながら地域に活力を生み出していく

## 経緯

- 平成26年 5月 日本創成会議より、いわゆる「増田レポート」公表
- 平成26年11月 国において「まち・ひと・しごと創生法」を制定  
→ 国と地方が一体となり、総合的かつ計画的な地方創生の取組を行うため、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定
- 平成28年 3月 「北本市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定
- 令和 元年12月 国において「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定  
→ 新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、令和2年12月に改訂
- 令和 4年 3月 **「第2期北本市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定**
- 令和 4年12月 国において「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定  
→ デジタル技術の活用によって「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」の実現を目指す
- 令和 7年 6月 **国において「地方創生2.0基本構想」を策定**  
→ 「強い」経済と「豊かな」生活環境の基盤に支えられる多様性の好循環が「新しい日本・楽しい日本」を創る

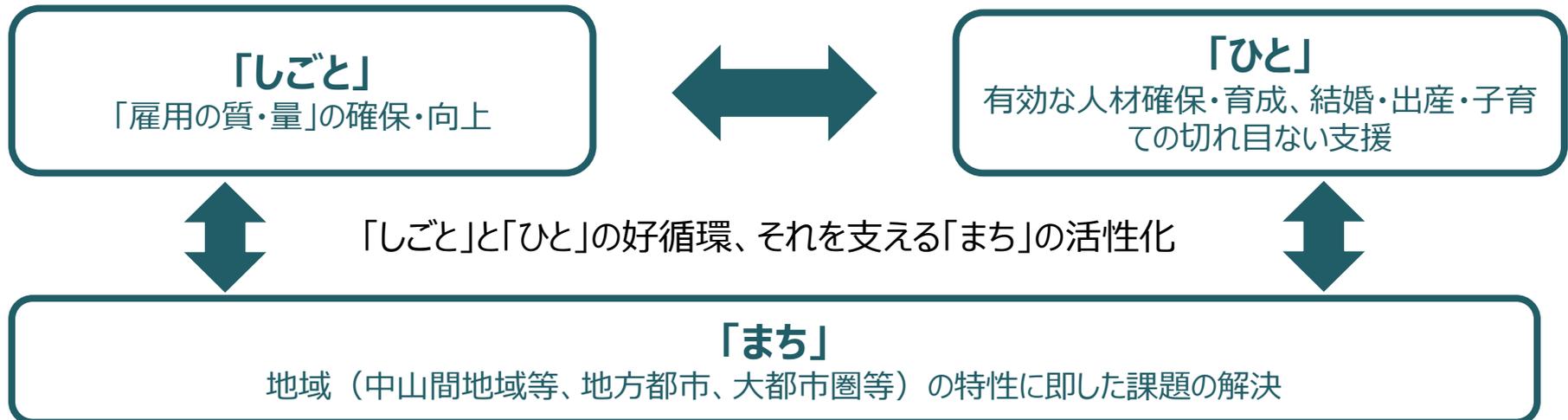
# まち・ひと・しごと創生総合戦略について

## 概要

- まち・ひと・しごと創生法第8条の規定により、国は「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定
- 全国で少子高齢化・人口減少が急速に進む中、東京圏への過度の人口集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくことを目的とする

## 基本的な考え方

- 地方における安定した雇用の創出や、若い世代が安心して生活を営み、子どもを産み育てられる社会環境をつくり出すことで、人口減少に歯止めをかける
- 「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立することで、地方へ新たな人の流れを生み出し、それを支える「まち」に活力を取り戻す



# 第2期北本市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

## 概要

- 令和元年12月に国において策定された、「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」や令和3年6月に定められた「まち・ひと・しごと創生基本方針2021」を踏まえ、令和4年3月に「第2期北本市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、「活力ある地域社会」の実現を目指す。
- 第五次北本市総合振興計画後期基本計画と一体的に策定し、推進していくことで、地方創生の実効性を高める。

## 目標

基本目標1 稼ぐ産業と安定した雇用を創出する

基本目標2 新しい人の流れとつながりをつくる

基本目標3 若い世代の出産・子育ての希望をかなえる

基本目標4 ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

横断的な目標1 多様な人材の活躍を推進する

横断的な目標2 新しい時代の流れを力にする

## 計画期間

令和4年度から令和7年度（4年間）

# 令和6年度実績報告について【基本目標1】

## 基本目標1：稼ぐ産業と安定した雇用を創出する

### 数値目標の状況について

数値目標	区分	現状値	目標値	R3	R4	R5	R6
就業者一人当たり市内純生産	成果	431.5万円 (H30)	438.3万円	385.9万円	385.9万円	436.2万円	429.6万円
市内有効求人倍率	成果比較	—	1.24倍	—	0.48倍	0.49倍	0.54倍

### 達成状況・要因及び対策等

- 就業者一人当たり市内純生産については、**未達成**  
現時点では令和4年度のデータが最新であることから、今後更新され次第、確認し、動向を注視していく。
- 市内有効求人倍率については、**未達成**  
新型コロナウイルス感染症の影響が少しずつ落ち着き求人倍率も年々増加傾向ではあるが、コロナ禍以前の水準にはまだ戻っていない。就職相談があった場合には、ハローワークの求人情報を見せるとともに、求めている条件に合うような仕事を見つけられるよう支援していく。

# 令和6年度実績報告について【基本目標2】

## 基本目標2：新しい人の流れとつながりをつくる

### 数値目標の状況について

数値目標	区分	現状値	目標値	R3	R4	R5	R6
ふるさと納税寄附件数	成果比較	3,908件	8,000件	6,128件	7,295件	8,790件	11,318件
25歳から34歳までの女性の社会増減	成果	-40人 (H30~R2平均値)	0人	5人	59人	50人	70人

### 達成状況・要因及び対策等

- ふるさと納税寄附件数については、**達成**  
引き続きポータルサイトの充実や、PR広告を実施し、寄附件数の維持と増加を図っていく。
- 25歳から34歳までの女性の社会増減については、**達成**  
転入の理由は様々考えられるが、本市のシティプロモーション推進方針のメインターゲットとしていることから、今後も増やしていけるよう事業を引き続き実施していく。

# 令和6年度実績報告について【基本目標3】

## 基本目標3：若い世代の出産・子育ての希望をかなえる

### 数値目標の状況について

数値目標	区分	現状値	目標値	R3	R4	R5	R6
市の子育て支援策が充実していると思う子育て世帯の割合	成果	74.3%	75.0%	—	74.3%	71.1%	74.8%
出生数	成果	340人	380人	351人	325人	281人	296人

### 達成状況・要因及び対策等

- 市の子育て支援策が充実していると思う子育て世帯の割合については、**未達成**  
対前年度比は増加となっていることから、今後も各子育て支援サービスの利用しやすさの改善を図り、子育て支援策の充実を図っていく。
- 出生数については、**未達成**  
子育て世代の社会増が出生数の増加に繋がることから、シティプロモーション推進方針に基づき、引き続き若い子育て世帯をターゲットとした事業を実施していく。

# 令和6年度実績報告について【基本目標4】

## 基本目標4：ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

### 数値目標の状況について

数値目標	区分	現状値	目標値	R3	R4	R5	R6
65歳健康寿命	成果比較	男性:18.43年	男性:19.00年	男性:18.88年	男性:19.06年	男性:18.74年	—
		女性:20.72年	女性:21.50年	女性:20.91年	女性:21.32年	女性:21.23年	—
地域活動に参加している市民の割合	成果	34.2%	35.0%	29.6%	11.4%	23.8%	24.2%
安全で安らげるまちなみとなっていると思う市民の割合	成果	57.6%	60.3%	59.2%	59.1%	56.4%	59.3%
温室効果ガスの総排出量（市全体）	成果比較基準値	272,000t	246,500t	254,000t	242,000t	245,000t	250,000t
災害による負傷者数および死亡者数	成果比較	0人	0人	0人	0人	0人	0人

# 令和6年度実績報告について【基本目標4】

## 基本目標4：ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

### 達成状況・要因及び対策等

- 65歳健康寿命については、令和5年度実績において、男性及び女性ともに**未達成**  
令和6年度分については未確定であるが、令和5年度については微減となっている。引き続き、事業を実施することで、健康寿命の延伸に努めていく。
- 地域活動に参加している市民の割合については、**未達成**  
対前年度比で微増となっているが、就労年齢の拡大や女性の就労率の向上により、地域の活動に参加できる人が減少しているため、自治会連合会の研修等の機会を通じて、若年層等の参加が増えている自治会などの事例を紹介する等、活発な自治会活動・コミュニティ活動が展開されるよう支援していく。
- 安全で安らげるまちなみとなっていると思う市民の割合については、**未達成**  
近年の気候変動、台風や大雨等の自然災害からくる不安、空き家の増加による住環境の劣化、開発による雑木林の減少などが要因と考えられることから、引き続き、関係課と連携しながら改善を図っていく。
- 温室効果ガスの総排出量（市全体）については、**未達成**  
対前年度比は1000 t - Co<sub>2</sub>の微増となった。地球温暖化の影響で夏場の電力需要が増加したことが一因と考えられる。
- 災害による負傷者数および死亡者数については、**達成**  
今後も負傷者数及び死亡者数を出さないよう事業を実施していく。

# 令和6年度実績報告について【横断的な目標1】

## 横断的な目標1：多様な人材の活躍を推進する

### 数値目標の状況について

数値目標	区分	現状値	目標値	R3	R4	R5	R6
地域に学習の機会と場がある児童・生徒の割合	成果	児童：48.6%	児童：60.0%	－	児童：41.4%	児童：44.5%	児童：41.7%
		生徒：26.2%	生徒：60.0%	－	生徒：22.8%	生徒：27.1%	生徒：18.7%
市民参画手続きに参画した人数	成果	1,741人	2,000人	2,377人	2,192人	3,012人	4,856人
協働により実施した事業の件数	成果	1件	2件	1件	0件	0件	0件
地域活動に参加している市民の割合	成果	34.2%	35.0%	29.6%	11.4%	23.8%	24.2%

# 令和6年度実績報告について【横断的な目標1】

## 横断的な目標1：多様な人材の活躍を推進する

### 達成状況・要因及び対策等

- 地域に学習の場と機会がある児童・生徒の割合については、**未達成**  
児童については、放課後子ども教室、学童保育室等の事業を推進し、一定の成果は挙がっているが、地域とのかかわりが少ない子どもたちもいるため、地域と学習が推進できる場について検討していく。  
生徒については、部活動、学習塾を利用している子が年々増加しているため、地域の人たちと接する機会が減ってきている。子どもたちの地域での過ごし方について、ニーズにあわせた対策を検討していく。
- 市民参画手続に参画した人数については、**達成**  
市民参画手続きのうち、アンケートによる調査が増加している。引き続き、市民参画手続の適切な実施に努めるよう周知している。
- 協働により実施した事業の件数については、**未達成**  
協働事業提案制度の周知を図る等、改善を図る。
- 地域活動に参加している市民の割合については、**未達成**  
昨年度より増加したが、就労年齢の拡大や女性の就労率の向上により、地域の活動に参加できる人が減少している。自治会連合会の研修等の機会を通じて、若年層等の参加が増えている自治会などの事例を紹介し、活発な自治会活動・コミュニティ活動が展開されるよう支援する。

# 令和6年度実績報告について【横断的な目標2】

## 横断的な目標2：新しい時代の流れを力にする

### 数値目標の状況について

数値目標	区分	現状値	目標値	R3	R4	R5	R6
AI・RPA等のデジタル技術を活用した件数	成果	11件	20件	14件	17件	17件	17件

### 達成状況・要因及び対策等

- AI・RPA等のデジタル技術を活用した件数については、**未達成**  
活用件数については、前年度と比較して横ばいである。引き続き、各課と協力しながら、活用可能な業務の洗い出しを行うものとする。

# 令和6年度実績報告について【総括】

## 全体の達成状況

数値目標	1	2	3	4	5	達成率
基本目標 1	未達成	未達成	—	—	—	0%
基本目標 2	達成	達成	—	—	—	100%
基本目標 3	未達成	未達成	—	—	—	0%
基本目標 4	未達成	未達成	未達成	達成	未達成	20%
横断的な目標 1	未達成	達成	未達成	未達成	—	25%
横断的な目標 2	未達成	—	—	—	—	0%

➤ 令和6年度における達成率

※計画3年目



**25.0%**